

ピリベンカルブとイミノクタジンアルベシル酸塩を  
有効成分とする新規の混合殺菌剤

農林水産省登録  
第23104号

二つの有効成分で  
灰色かび病・うどんこ病・菌核病・葉かび病に  
優れた効果を発揮

殺菌剤

# ファンベール®

顆粒水和剤

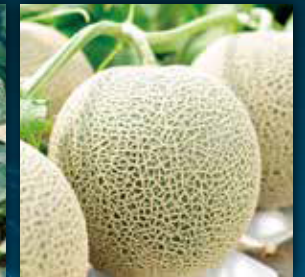
®はクミアイ化学工業㈱の登録商標



Iminoctadine  
tris(albesilate)



Pyribencarb



自然に学び 自然を守る





## 特長

- 1 ピリベンカルブとイミノクタジンアルベシル酸塩との混合剤です。
- 2 ワイドスペクトラムな園芸殺菌剤で各種病害に高い予防効果を示します。  
 特に灰色かび病、うどんこ病、菌核病、葉かび病などに優れた効果を示します。
- 3 予防効果に加えて病斑進展阻止効果を有し、また浸達性や残効性も有します。
- 4 既存の各種耐性菌に対しても効果を発揮します。  
 また、異なる作用成分を混合しているため、薬剤耐性菌の発達リスクを抑えます。
- 5 ミツバチ等の花粉媒介昆虫に対する影響が少ないです (散布翌日導入可)。

## 適用病害と使用方法

本資料は2020年11月11日現在の登録内容に基づいています。

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の総使用回数	ビリベンカルブを 含む農薬の総使用回数
きゅうり	菌核病 褐斑病 黒星病	1000倍	100～300ℓ /10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	7回以内	3回以内
いちご	灰色かび病 うどんこ病 炭疽病						10回以内 (育苗期は5回以内、 本圃では5回以内)	
トマト	灰色かび病 すすかび病 うどんこ病 葉かび病 菌核病						3回以内	
すいか	炭疽病						4回以内	
メロン	菌核病 うどんこ病 つる枯病						5回以内	

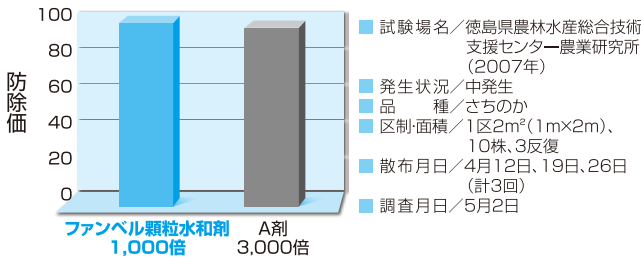
■ が適用拡大部分

## 上手な使い方

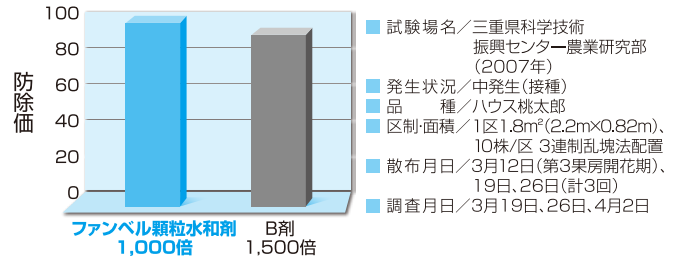
- 散布液調製時には溶液を十分に攪拌してください。調製後は速やかに散布してください。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、なるべく作用性の異なる薬剤とのローテーションで使用してください。

## 試験事例

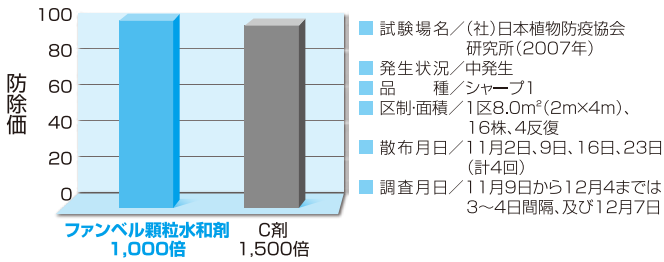
### ● いちごのうどんこ病に対する試験事例



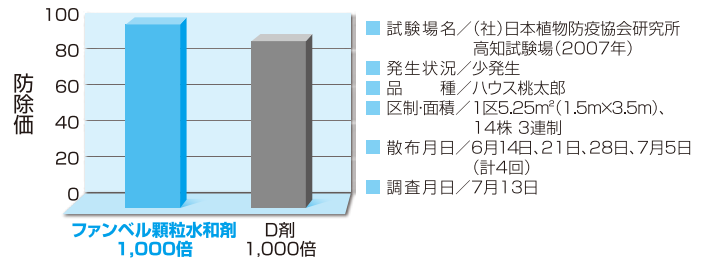
### ● トマトの灰色かび病に対する試験事例



### ● きゅうりの菌核病に対する試験事例



### ● トマトの葉かび病に対する試験事例



## △ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- トマトの施設栽培で施設内が高湿多湿な場合は、葉害を生じるおそれがあるので、散布後十分に換気をおこなってください。
- 畜に対して影響があるので、周辺の畜舎にはかからないようにしてください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように

- 注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用すると

- もに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物などとの接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ● 防除日誌を記帳しましょう。